

三芳町男女共同参画に関する住民意識調査

ご協力のお願い

日頃より町政にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

三芳町では男女が、対等な立場で責任を担いながら、あらゆる分野でそれぞれの個性や能力をのびのびと発揮できる、男女共同参画社会の実現をめざして、平成 18 年度より 10 年間を計画期間とする「第 2 次三芳町男女共同参画基本計画」を策定し、さまざまな施策に取り組んでまいりました。この第 2 次三芳町男女共同参画基本計画は平成 27 年度をもって計画期間が終了するため、平成 28 年度以降の三芳町における男女共同参画社会の形成を促進するための指針となる「第 3 次三芳町男女共同参画基本計画」を策定いたします。つきましては、住民の皆様の男女平等意識や男女共同参画の実態を把握し、計画策定に反映させるための基礎資料とするため、「三芳町男女共同参画に関する住民意識調査」を実施させていただきます。

この調査は、町内にお住まいの 20 歳以上の方 1,000 人を住民基本台帳から無作為に抽出した結果、あなた様にご回答をお願いすることになりました。ご回答はすべて無記名で行い、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、率直にご回答ください。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、より多くの皆さまのご意見を反映いたしたく、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 4 月

三芳町長 林 伊佐雄

《ご記入にあたってのお願い》

■ 調査の対象者

- ◇ 三芳町に居住する 20 歳以上の住民 1,000 人を無作為に抽出し、実施するものです。
- ◇ 封筒の宛名の方が対象者ですので、ご本人が回答してください。（ご本人の記入が困難な場合は、身の回りの世話をしている方が聞き取りするなどして、できるだけ回答にご協力ください。）

■ 記入方法

- ◇ 選択肢の設問については、該当する番号に○をつけてください。
- ◇ 自由回答（記入式）の設問については、あなたのお考えを簡単にまとめて回答欄に記入してください。

■ 返送方法と締め切り

- ◇ 回答をご記入後、同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れ、お近くの郵便ポストに投函してください。 **5月11日（月）までにご返送をお願いします。**

■ お問い合わせ先

- ◇ このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いします。

三芳町役場 総務課 人権・庶務担当

電話 258-0019（内線404・405）

I あなた自身について

【問1】 まず回答者ご自身のことについてお聞きします。次の(ア)～(キ)の各項目について、該当する番号に○をつけてください。

(ア) 居住地区	1 上富地区 2 北永井地区	3 藤久保地区 4 竹間沢地区	5 みよし台地区
(イ) 性別	1 女性	2 男性	
(ウ) 年齢	1 20～29歳 2 30～39歳 3 40～49歳	4 50～59歳 5 60～69歳 6 70歳以上	
(エ) 就労形態	1 農業(家族従事者を含む) 2 自営業(商・工・サービス業) 3 常勤の勤め (会社員・公務員・教員など) 4 派遣・契約社員 5 パート・アルバイト	6 在宅の仕事(内職) 7 自由業 8 家事専業 9 無職(定年退職を含む) 10 学生 11 その他()	
(オ) 三芳町での 居住年数	1 2年未満 2 2～4年 3 5～9年	4 10～19年 5 20～29年 6 30年以上	
(カ) 未婚・既婚 (未届を含む)	1 結婚している 2 結婚の経験はない	3 結婚したが離別・死別した	
(キ) 同居の 家族構成	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ(一世代家族) 3 親と未婚の子ども(核家族)	4 親と子ども夫婦(二世世代家族) 5 親と子どもと孫(三世世代家族) 6 その他()	

II 男女平等意識について

【問2】 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---|---------|
| 1 そう思う | } | 【問2-①】へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | | |
| 3 そう思わない | } | 【問2-②】へ |
| 4 どちらかといえばそう思わない | | |
| 5 どちらともいえない | | |

【問2-①】 前問(問2)で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」とお答えの方にお聞きします。あなたが、そう思う主な理由は何ですか。

(○は2つまで)

- 1 男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから
- 2 自分の両親などがそのようにしてきたから
- 3 夫婦の役割をはっきりさせるほうが仕事も家庭もうまくいくから
- 4 女性は仕事を持って不利益な条件におかれているから
- 5 社会全体にそうした風潮があるから
- 6 その他()

【問2-②】 前問（問2）で「3 そう思わない」「4 どちらかといえばそう思わない」とお答えの方にお聞きします。あなたが、そう思う主な理由は何ですか。

（○は2つまで）

- 1 男女ともに仕事を持つのは当然だから
- 2 家事・育児は男女で協力してやるべきだから
- 3 仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよいから
- 4 性別で役割を固定化することは個人の可能性を狭めるから
- 5 その他（ ）

Ⅲ 家庭生活（家事・子育て・介護）について

【問3】 あなたは、（ア）～（ケ）にあげてを日常どの程度おこなっていますか。（○はそれぞれ1つ）

	いつも している	ときどき する	ほとんど ない	まったく ない	する必要が ない
（ア）食事のしたく	1	2	3	4	5
（イ）食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5
（ウ）洗濯	1	2	3	4	5
（エ）掃除	1	2	3	4	5
（オ）ごみ出し	1	2	3	4	5
（カ）要介護者の介護	1	2	3	4	5
（キ）育児・子育て	1	2	3	4	5
（ク）学校行事等の参加（保育所・幼稚園含む）	1	2	3	4	5
（ケ）子どもの送迎	1	2	3	4	5

【問4】 平日にあなたが家事・子育て・介護にかかわる時間は、平均すると1日何時間くらいになりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1 30分未満 | 7 5～6時間未満 |
| 2 30分～1時間未満 | 8 6～7時間未満 |
| 3 1～2時間未満 | 9 7～8時間未満 |
| 4 2～3時間未満 | 10 8時間以上 |
| 5 3～4時間未満 | 11 特にしていない |
| 6 4～5時間未満 | |

【問7】 あなたの家族の中で介護の必要な方が出た場合に、どのように対応しますか。現在介護をしている方は、今後の希望としてお答えください。 (○は1つだけ)

- 1 自分で介護する
- 2 同居の家族で介護する
- 3 同居していない親族に頼む
- 4 介護サービスを利用しながら自宅で介護する
- 5 介護施設を利用する
- 6 まだわからない
- 7 その他 ()

【問8】 あなたご自身が、介護が必要になった場合、誰に介護を頼みたいと思いますか。 (○は1つだけ)

- 1 配偶者 (パートナー)
- 2 娘
- 3 娘の配偶者
- 4 息子
- 5 息子の配偶者
- 6 その他の親族 (兄弟姉妹等)
- 7 介護保険サービスの利用 (デイサービスや施設入所等)
- 8 その他 ()

【問9】 今後、性別にかかわらず家事・子育て・介護を積極的に行っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (○は3つまで)

- 1 学校で男女平等意識を育てる教育をする
- 2 男女の役割分担をなくすための啓発活動をさらに進める
- 3 育児・介護休業制度の一層の普及を図る
- 4 男性が仕事中心の生き方・考え方を改め、家事などに参加することの抵抗感をなくす
- 5 女性が男性の家事参加への抵抗感をなくす
- 6 企業等が男女ともに仕事と家庭生活を両立できる職場環境を整える
- 7 労働時間を短縮する
- 8 フレックスタイム制 (※注) や在宅勤務などを普及させる
- 9 その他 (具体的に)

(※注) フレックスタイム制・・・労働者が一定の定められた時間帯の中で労働の始期と終期を自由に決定できる労働時間制

IV 就業について

【問10】 あなたは、働いたことがありますか。(パート、自営業、臨時、内職等も含みます)

(○は1つだけ)

1 現在働いている

2 以前は働いていたが、今は働いていない

3 今まで働いたことがない

【問10-③】へ(次ページ)

→ 【10-①】 前問(問10)で、「1 現在働いている」と答えた方にお聞きします。
あなたが働いて収入を得ている理由はどのようなことですか。(○は3つ
まで)

- 1 生計を維持するため
- 2 生活費補助のため
- 3 将来に備えて貯蓄するため
- 4 自分で自由になる収入がほしいため
- 5 自分の能力、技能、資格を生かすため
- 6 働くことが好きだから
- 7 社会や人とのつながりをもつため
- 8 社会的な信用を得るため
- 9 経済的に自立をするのはあたりまえだと思うから
- 10 家業だから
- 11 その他()

→ 【問10-②】 前問(問10)で、「1 現在働いている」と答えた方にお聞きします。
あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなこと
がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 賃金に男女差がある
- 2 昇進、昇格に男女差がある
- 3 能力を正當に評価しない
- 4 配置部署が限られている
- 5 女性を管理職に登用しない
- 6 補助的な仕事しか担当させない
- 7 結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある
- 8 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
- 9 教育や研修を受ける機会が少ない
- 10 特に男女差はない
- 11 その他()

(シ) 仕事を無理やりやめさせられる	1	2	3
(ス) 生活費を渡さないなど経済的な制裁	1	2	3

※問14の(ア)～(ス)までの設問で「何度もあった、1・2度あった」に1つでも○があれば【問14-①、②】へ
○がなければ【問15】へ

▶【問14-①】 前問(問14)で1つでも「何度もあった」「1・2度あった」と答えた方にお聞きします。あなたは、その受けた行為に対して、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。 (○は1つだけ)

- 1 相談した } 【問15】へ
- 2 相談できなかった
- 3 相談しようとは思わなかった } 【問14-②】へ

【問14-②】 前問(問14-①)で「2 相談できなかった」「3 相談しようとは思わなかった」と答えた方にお聞きします。相談しなかった理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

- 1 どこに相談してよいのかわからなかったから
- 2 相談しても無駄だと思ったから
- 3 世間体が悪いから
- 4 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 5 相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから
- 6 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていたらと思ったから
- 7 自分にも落度があると思ったから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 相談するほどのことではないと思ったから
- 10 思い出したくないから
- 11 その他 ()

【問15】 あなたは、配偶者等から暴力を受けた人への取り組みとして、どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)

- 1 暴力防止のための啓発を進める
- 2 被害を受けて悩んでいる人たちへ支援等の情報を提供する
- 3 被害を受けた人たちのための相談体制・窓口を充実する
- 4 シェルターなど被害者を保護する体制を充実する
- 5 被害者が自立して生活できるように支援する
- 6 暴力をふるう加害者への対策を進める
- 7 その他 ()

Ⅵ 地域での社会参画について

【問16】 あなたは現在、次のような地域の活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 町会や自治会などの活動
- 2 PTA、子ども会や青少年に関する団体の活動
- 3 趣味、教養、スポーツ等の活動
- 4 公園や集会所などの地域の施設整備活動
- 5 高齢者、障がい者、児童等の福祉活動
- 6 自然保護やごみ問題など環境保全に関する活動
- 7 政治や行政に関する活動
- 8 女性団体・グループなどの活動
- 9 国際交流・協力に関する活動
- 10 その他()

11 特に何もしていない

↓
【問16-①】 前問(問16)で「11 特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事が忙しい
- 2 家事・育児が忙しい
- 3 病人や要介護者がいる
- 4 家族の協力が得られない
- 5 健康に自信がない
- 6 情報がない
- 7 一緒に活動する仲間がいない
- 8 興味がない
- 9 その他()

【問17】 地域活動の担い手は、女性が多い傾向にあります。会長やリーダーに女性が少ない原因は何だと思えますか。(○は2つまで)

- 1 女性自身がリーダーになりたがらないから
- 2 女性は組織活動の経験が少ないから
- 3 女性では、相手に軽く見られるから
- 4 指導力のある女性が少ないから
- 5 男性がリーダーとなるのが社会慣習だから
- 6 女性がリーダーだと男性がついてこないから
- 7 女性は家事・育児などで地域活動に専念できないから
- 8 その他()

最後に、「男女平等」や「男女共同参画」に関するご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

これで調査は終了です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
5月11日（月）までに同封の返信用封筒に入れ、ご返送ください（切手不要）。